

# 平成22年度農林水産祭（畜産部門）

## 岡山市の松崎隆さん・まり子さんに天皇杯

（社）岡山県畜産協会 経営指導部

平成22年10月19日に開催された農林水産祭中央審査委員会第2回総会において、平成22年度（第49回）農林水産祭の天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の各受賞者が決定し、畜産部門において、岡山市東区松新町の酪農経営：松崎隆さん・まり子さんが見事、天皇杯を受賞されました（本県としては5年ぶり4例目で、経営（酪農）では31年ぶり2例目）。



天皇杯等三賞は、過去一年間（平成22年度：平成21年8月～22年7月）に農林水産祭参加行事として全国各地で開催された品評会・共進会・コンクール等（同：305件）において、農林水産大臣賞を授与された出品財（同：517点）の中から、7部門（農産、園芸、畜産、蚕糸・地域特産、林産、水産、むらづくり）毎に毎年決定されており、特に天皇杯は、その内容が最も優秀で、広く社会の賞賛に値するものに下賜される農林水産業者最高の栄誉となっています。

松崎さんご夫婦は、昨年11月2日に開催された平成21年度全国優良畜産経営管理技術発表会において、農林水産大臣賞（最優秀賞）を受賞され（詳細は、2010年1月号の畜産便りに掲載）、8月上旬～9月下旬に開催された

中央審査委員会畜産分科会等による厳正な審査（書類審査と現地調査）により、天皇杯等三賞の候補に挙がっていました。

受賞理由の概要は、農林水産省のホームページで公表されていますが、自給飼料基盤の確保とエコフィードの積極的活用、適正な堆肥処理と良好な堆肥流通及び良質な牛乳生産のための健康な牛作りの3点が特色として挙げられているなど、都市近郊の混住化が進む地域において、耕種農家と連携して飼料自給率を高め、地域の酪農に対する評価も高めながら、6次産業化を目指す取り組みの先駆的モデルであり、広く普及性を持つものとして高く評価されています。

この度の栄に浴されたご夫婦は、「ここに至るまでにお世話になった岡山県、おかやま酪農業協同組合など関係指導機関の皆様やいつも暖かく励ましていただいた酪農仲間のおかげ。これからも、JAおからく組合員、地域の耕種農家の方々や牧場に訪れてくださっている消費者や子供達など、多くの皆様との絆を強めて頑張っていきたい」と話されていました。

なお表彰は、11月23日に東京都渋谷区の明治神宮会館で開催される農林水産祭式典にて行われることとなっています。

